

公表

事業所における自己評価結果(児童発達支援)

事業所名	こどもプラス東浜教室				公表日	令和 7年 5月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	・就学児童がいる場合は遊び場等を区別している。	・利用児童、時間帯により、スペースを区分して対応している。今後もよりより環境設定を検討していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3		・人員配置基準どりの職員体制となっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・日付、カレンダーの掲示の方法を工夫してほしい。	・掲示物、情報伝達方法の工夫をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2		・利用児童、時間帯により、スペースを区分して対応しています。今後もよりより環境設定を検討していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	4		・簡易的にスペース確保ができる環境を作って、提供しています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	5	1		・PDCAの取り組みに努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	・この機会にふれることがない。	・外部評価の導入を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		・研修の開催は確保されている。要望により、研修内容を検討していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		・支援のあり方、共通理解を深め、支援を実行していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		・ツールを使用した情報の共有を検討していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		・立案を確認後、修正等をチームで実施しています。

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2		・職員の企画により、工夫しながら活動を展開しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	5		・その日の確認事項は希薄状態なので、改善をしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4		・その日の確認事項は希薄状態なので、改善をしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		・記録は実施されているが、検証等に関しては希薄状態なので、改善をしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		・一部、連携を確保しているが、体制的に整えていないので、整備等の検討をしていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・学校の先生方と話す機会が少ない(学校迎え時)。	・一部、連携を確保しているが、体制的に整えていないので、整備等の検討をしていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		・担当者会議を開催以外に当事業所と学校関係者と顔合わせを含めて情報共有に努めています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	4		・助言等は受けていない。相談支援事業所、学校関係と調整しながら、助言等を頂ける機会を検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		・児童館を利用しながら、地域資源を活用して、交流の機会を設けるように検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		・送迎時、学校の様子、当事業所の様子を伝えながら、自宅での過ごし方等の情報共有に努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		・研修等の情報提供をしていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		・モニタリング等にて、説明をしたいと思っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5			・父母会と行事ごとと併用、気軽に参加できるように企画を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	・児童が聞こえるところで他児童の情報を話すことが見られる。	・個人情報の取り扱いに留意し、業務にあたることに努めていきます。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		・伝達した内容を再確認が必要な場面では、配慮が希薄なので、改善に努めていきます。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		・地域との交流等の企画を検討していきます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6				
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	2	・共有できているか不明。	・共有の状況を再確認し、業務にあたることに努めていきます。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・指示書を見たことがない。	・アレルギー対象がいらない。指示書の受理した場合は、共有、把握できているか常に確認をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2		・周知の方法を検討していきます。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	・作成はしているが、共有は不明。	・共有の再確認をし、業務にあたることに努めていきます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	・対象児がいらない。	・対象児がいらない。実施する場合は対応を計画的に進めていきます。		